

熊谷市史編さん委員会・専門部会 報告

(令和四年一月～二月)

I 熊谷市史編さん委員会報告

令和三年度 第二回 熊谷市史編さん委員会

当回の熊谷市史編さん委員会の会議については、飯塚好委員長との協議の結果、新型コロナウイルスによる感染症をめぐる社会状況を踏まえ、委員の招集を行わず、書面による審議とした。(令和四年三月一日付けで、通知、資料等を各委員宛てに送付。)

【概要】

○審議内容

〔報告事項〕

次に掲げる事項について、資料(『熊谷市史研究 第一四号』の抜粋原稿)の送付により報告に代えた。

①熊谷市史編さん委員会の活動状況(令和三年一月～二月期)

令和二年度の会議(令和三年三月二日開催)及び同三年度第一回の会議(令和三年一月二四日開催)の概要に関するもの。

②各専門部会の活動状況(同前)

中世、近世、近代・現代(荻野吟子に関する史料集担当※を含む)及び仏像・仏画の各専門部会の活動(調査、会議等)の概要に関するもの。

※現・荻野吟子に関する調査報告書担当

〔審査事項〕

前回の、令和三年度第一回の会議において審議を行った熊谷市教育委員会からの諮問(『熊谷市史編さんにつ

いて「熊谷市史編さん大綱」の改定について）※に関して、各委員から特段の異議等が出されなかったことを踏まえ、飯塚委員長と協議の上、事務局において作成した答申案（主旨）「熊谷市史編さん大綱」の改定内容を適当と認める。及びこれに関する承認の可否等の記入様式を送付し、当該様式への記入並びに事務局への返送を依頼した。

その結果、委員全員から承認の意が示されたため、この結果についての委員長への報告を経て、教育委員会に対し、当該答申案の文面により答申を行うことが決定した。なお、このことについて、令和四年三月二十九日付で、各委員宛て、文書により報告を行った。

※ 諮問の内容（大要）については、『熊谷市史研究 第一四号』一二二～一二三ページを参照。

令和四年度第一回熊谷市史編さん委員会

日時 令和四年一月二三日（水・祝）午後二時開会

場所 熊谷市立熊谷図書館 第一講座室

【概要】

○議 事

〔報告事項〕

次に掲げる事項について、報告を行った。

①各専門部会の活動状況について

初めに、本年度（令和四年度）以下、本稿において同じ。新たに設置された「熊谷市史地形・地質・気候専門部会」（専門委員（部会長）＝島津弘・立正大 学地球環境科学部教授）（以下「地形・地質・気候専門部会」）に関する紹介を行った後、これを含む各専門部会が、本年度、これまでの期間に実施した調査等の活動の状況について報告を行った。なお、部会長が当委員会の委員で、かつ、今回の会議に出席している専門部会（近世・近代・現代（荻野吟子に関する調査報告書担当に係るものを除く。））に関しては当該部会長から、それ以外の専門部会等（中世、仏像・仏画、地形・地質・気候、荻野吟子に関する調査報告書担当）に関しては事務局から、それぞれ報告した。

②事務局（市史編さん室）の活動について

本年度、これまでの期間に事務局（市史編さん室）が実施した活動のうち、古文書や学校資料等の調査を中心に報告を行った。

③本年度刊行予定の書籍について

本年度に刊行予定の『熊谷市史 調査報告書 荻野吟子―その歩みと出会い―』（以下「荻野吟子に関する調査報告書」）について、その概要（仕様、構成、特長等）について説明を行った。

※ 主な質疑として、本年度をもって閉校となる市立星宮小学校における学校資料調査の状況に関するもの、荻野吟子に関する調査報告書の記載におけるジェンダー関係の確認に関するもの等があった。

〔審議事項〕

熊谷市教育委員会からなされた「熊谷市史編さんについて（「熊谷市史編さん大綱」の改定について）」の諮問に関し、審議を行った。

事務局から、次に掲げる当該諮問の内容について説明を行い、その後、質疑等がなされた。

一 地形・地質・気候専門部会における協議及び同専門部会の意向を踏まえ、熊谷市史編さん大綱（以下「大綱」）中の刊行計画について、『熊谷市史 別編3』（以下「別編3」）の「編名」及び「担当部会」の欄の記載（「自然編1 地形・地質」、「地形・地質」のそれぞれ

の末尾に「・気候」を加えるとともに、「範囲・内容」の欄の記載にも「気候」を加え、併せて、当該記載の文章に関し、気候の分野の加入を反映したものに修正する。

二 前記一と同様の根拠により、大綱中の年次計画について、別編3の「編名」の欄の記載（「自然編1 地形・地質」）の末尾に「・気候」を加えるとともに、事務局の体制等を踏まえ、その刊行年度を、現行の令和九年度から同八年度に移行する。

審議の結果、前記の諮問内容について異議等はなく、次回の会議において、この審議結果を踏まえて答申をまとめることとなった。

※ 主な質疑（意見）として、別編3において気候の分野を取り上げることが踏まえた、熊谷地方気象台の職員への編集委員の委嘱に関する提案等があった。

（文責 大野 幸人）

II 専門部会活動報告

一 中世専門部会

中世専門部会長 高橋 修

当専門部会は、平成二四年度に『熊谷市史 資料編2 古代・中世』を、同三〇年度に『熊谷市史 通史編上巻 原始・古代・中世』を刊行し、『熊谷市史』本編についての編さんを完了している。現在は、『調査報告書 直実・実盛伝説』の編さんが進行中である。

また、別に中世石造物担当を設置したが、こちらも、令和三年度に『調査報告書 中世の石造物』を刊行し、編さんを完了した。これを受けて、今年度、この本に関する講座が開催されたので、この場で報告する。

1 調査報告書『直実・実盛伝説』

新型コロナウイルス感染症の拡大につき、今年度も、期間中に会議等を開催することはできなかったが、従来決定していた方針に従って、各担当が資料の収集や調査

を行った。

2 調査報告書『中世の石造物』

市立熊谷図書館において、「熊谷の中世石造物」をテーマとして郷土史講座が開催された。『調査報告書 中世の石造物』をテキストに、執筆者四名が講師を務め、以下の報告を行った。

- ・五月二四日(火) 講師 磯野 治司
「熊谷の板碑の発生と特徴」
- ・五月三二日(火) 講師 野口 達郎
「中世石造物の来歴を読む」
- ・六月 七日(火) 講師 伊藤 宏之
「銘文・形態から見る中世石造物」
- ・六月一四日(火) 講師 栗岡 眞理子
「宝篋印塔・五輪塔の特徴について」

二 近世専門部会

近世専門部会長 北村 行遠

近世専門部会では、令和四年は『熊谷市史 資料編5』

近世3（妻沼地域編）（以下、『資料編5』という。）の刊行を行い、また、『熊谷市史 資料編3 近世1（熊谷地域編上）』（以下、『資料編3』という。）の編集に向けて活動した。

部会会議の開催は、令和三年度の第五回・第六回と令和四年度の第一回・第二回で、年度内にあと一回の会議を予定している。あわせて、各会議の前には、近世編（三巻分）の各巻を担当する編集委員（巻担当者）による打ち合わせを行った。一月三〇日、一〇月二〇日、一月二九日の計三回である。

以下、各会議の活動内容について略述する。

令和三年度 第五回専門部会会議（令和四年一月一〇日）

1 『資料編5』の進捗状況 事務局から編集状況の報告があり、報告内容について各章の担当者により確認がなされた。

2 『資料編5』の編集に向けて 人権分野担当の編集委員から一部の人権関係資料の掲載について意見が出され、その意見を尊重しながら掲載箇所を検討した。

令和三年度 第六回部会会議（令和四年二月一三日）

1 『資料編5』の進捗状況 事務局から編集状況の報告があり、事務局作成の目次が提示された。

2 『資料編5』の編集に向けて 凡例や口絵の並び順などについて確認を行い、各章担当者のもとでも、目次と本文資料との照合をするように依頼した。事務局からは、人権関係の資料掲載についての許可手順について説明がなされた。

令和四年度 第一回専門部会会議（令和四年一〇月二三日）

1 事務局報告 事務局から継続して行われている古文書調査について、現状報告があった。

2 『資料編3』の刊行に向けての計画 『資料編3』を含む近世編の残り二巻（熊谷地域編）の刊行スケジュールを確認し、あわせて「熊谷地域編」の書名

をどうするか検討した。また、通史編の内容・構成などを立案してもらおう担当編集委員を決めておく必要があるのではないかとの意見が出され、検討することとなった。

- 3 『資料編3』の編集に向けて 担当者から章立て案についての報告があった。また、別冊付録の候補について話し合いを行った。
- 4 その他 専門調査員に欠員があるため、その補充をすべく候補者の検討を行った。

令和四年度第二回専門部会会議（令和五年一月二一日）

- 1 事務局報告 事務局から、その後の古文書調査について現状報告があった。
- 2 『資料編3』の刊行に向けての計画 章ごとの掲載資料を検討・確認した。また今後、掲載資料の関係で章のタイトルを変更する場合もあることを確認。通史編の担当編集委員には、本人の同意を得て栗原専門調査員にお願いすることを了承した。

3 『資料編3』の編集に向けて 前回提案された章立て案の内容について確認がなされ、各章の執筆担当者

の検討を行った。また、原稿提出のスケジュールや編集方針について確認した。令和九年度に刊行予定の三巻目についても、早めに着手し、計画的に編集していくことを確認した。

- 4 その他 新規の専門調査員の追加について、候補者の意向などの経過報告があった。

三 近代・現代専門部会

近代・現代専門部会長 老川 慶喜

近代・現代専門部会では、『熊谷市史資料編6 近代・現代1 熊谷地域編上』（以下、『資料編6』という。）及び『熊谷市史資料編7 近代・現代2 熊谷地域編下』（以下、『資料編7』という。）の刊行に向けて活動を行った。まず、七月に第一回の専門部会会議を開催し、その後、十月に『資料編7』の担当者会議を開催した。

また、熊谷市行政文書及び新聞記事、市立熊谷図書館所蔵資料など関係資料の調査を各編集委員と事務局で随時実施した。

令和四年度第一回近代・現代専門部会会議

(令和四年七月一八日 市立商工会館)

① 刊行までのスケジュールについて

事務局から、各巻における刊行までの大まかな流れについての説明を受けた。

② 目次・掲載資料リストの検討等について

掲載資料リストの様式を確認し、次回の専門部会会議(ただし、『資料編7』該当部分については担当者会議)までに各編集委員が検討し、提出することになった。

③ 今後の活動について

『資料編7』については、刊行時期が近い(令和七年度予定)ため、十月中に担当者会議を行い、その結果を受けて、十二月以降に次回専門部会会議を開催することとした。

令和四年度第一回『史料編7』担当者会議

(令和四年十月三十日 妻沼展示館)

掲載資料リストをもとに、各編集委員から担当部分の進捗状況を説明し、不明点などを協議して認識の共有を図った。

荻野吟子調査報告書担当

『熊谷市史調査報告書 荻野吟子―その歩みと出会い―』については、令和五年三月の刊行に向けて、同三年六月に三人の編集委員を委嘱し、調査や執筆、校正等の作業を進めている。刊行時期が近づいていることもあり、この一年は、各編集委員が以下のとおり精力的に活動を行った。

1 編集会議の開催

令和三年には、計五回の編集会議を開催したが、本年は、計六回の編集会議を開催した。『調査報告書』全体の構成から個々の史料の解釈まで、さまざまな点について活発な協議が行われた。なお、会議は、すべてオンラインにより実施した。

- (1) 第六回編集会議 (令和四年一月二五日)
- (2) 第七回編集会議 (令和四年三月二二日)
- (3) 第八回編集会議 (令和四年四月一八日)
- (4) 第九回編集会議 (令和四年六月二三日)
- (5) 第一〇回編集会議 (令和四年八月二二日)
- (6) 第一一回編集会議 (令和四年一〇月一七日)

2 調査の実施

刊行に向けて、各編集委員が調査を行ったほか、七月三日から七日にかけては、尾崎泰弘、林美枝子、広瀬玲子の三人の特別調査員及び事務局（市史編さん室）の間で、北海道久遠郡せたな町及び瀬棚郡今金町での調査を実施した（調査の詳細については、一二七ページの調査報告参照）。

3 『調査報告書』の体裁等について

書籍の体裁・構成等については、次のとおりとする。

- (1) 解説
- (2) 史料集
- (3) 写真
- (4) 人物・団体・出典解説
- (5) 地図・系図・年表

4 『調査報告書』編集の進捗について

各執筆者は、史料集及び人物・団体・出典解説につい

ては四月頃までに、解説については六月頃までに原稿を作成した。それぞれ、編集会議等で協議を重ね、その修正版を完成させ入稿した。それぞれのパートについて、二～三回の校正を行っている。その間に新たに発見された史料や調査成果等についても、原則として報告書に反映することとした。

なお、その他の部分については、事務局が原稿を作成し、編集委員が確認を行った。令和五年一月現在、各編集委員が最終校正を行い、事務局が詰めの編集作業を行っている。

四 地形・地質・気候専門部会

地形・地質・気候専門部会長 島津 弘

当専門部会は、現在、編さん事業を行っている『熊谷市史』中の「別編3 自然編1 地形・地質」の刊行に向け、その編集を担当する専門部会として、今年度、新たに設置された。

去る令和四年一〇月一三日に初回の会議を開催し、仮称としていた専門部会の正規の名称（以下「専門部会名」

という。)や前記の編集担当書籍の書名(以下「担当書籍名」という。)等について協議を行った。(詳細は後述)

なお、所属する編集委員は、次の五名である。

・ 専門委員(部会長)〔令和四年六月一日委嘱〕

島津 弘(立正大学地球環境科学部教授)

・ 専門調査員〔令和四年九月一日委嘱〕(五十音順・敬称略)

井上 素子(埼玉県立自然の博物館学芸主幹)

北沢 俊幸(立正大学地球環境科学部准教授)

八戸 昭一(埼玉県環境科学国際センター研究推進室

長)

渡来 靖(立正大学地球環境科学部教授)

令和四年度第一回(仮称)地形・地質専門部会会議

(令和四年一〇月二三日、熊谷市立江南文化財センター)

五名の編集委員全員の出席の下、前記のとおり初回の

会議を開催した。

初めに、専門調査員四名に対し委嘱状が交付された(部会長については、同四名に先立ち委嘱がなされたため既に交付済み)後、議事に入り、以下の事項について協

議した結果、それぞれ記載のとおり決定した。

① 専門部会名及び担当書籍名について

専門部会名について、「地形・地質」に加え、熊谷市の特徴として触れられることの多い「気候」の分野を取り上げる必要性から、「地形・地質・気候専門部会」とすることを決定した。

また、担当書籍名については、専門部会名に関する議論を踏まえ、当専門部会の意向として※、「別編3

自然編1 地形・地質・気候」とすることとした。

② 編集担当書籍の刊行年度について

前記の編集担当書籍について、現行の「熊谷市史編さん大綱」中の年次計画では、その刊行年度を令和九年度としているが、同年度には、「資料編4 近世2 熊谷地域編下」の刊行も予定されており、事務局の対応態勢等の観点から令和八年度へ移行する案が示され

※、これを承認することとした。

※ この意向及び案を踏まえ、熊谷市教育委員会が熊谷市史編さん委員会(附属機関)に当該書籍名及び刊行年度の変更を含む熊谷市史編さん大綱の改定について諮問し、それに対する同委員会からの答申を受けた後、同教育委員会の議決が得られた場合に正式に決定される。

③ 編集担当書籍において取り上げる内容について

編集担当書籍において取り上げる内容に関し、参考として県内の他の自治体における目次の例について概観し、各編集委員に対し検討を依頼した。

④ 次回の会議について

次回の会議について、令和五年の二月頃を目途に調整を行い、開催することとした。

五 仏像・仏画専門部会

仏像調査専門部会長 林 宏一

1 仏像・仏画悉皆調査

平成二四年度から調査を開始し、令和四年度は一一年目となる。

本年も、新型コロナウイルス感染症流行の影響により、当初予定されていた二月、三月、七月の調査が中止となったが、その後は順調に調査が進み、一三地点の調査を行った。

調査内容は、仏像等の写真撮影や寸法・形状・材質等を記した調査カードの作成等である。この一年間で

二〇〇点超の仏像・仏画等の調査を終えた。これまでの累計では、三、八〇〇点超の調査を行ったことになる。

令和四年に実施した調査は以下のとおりである。

- 1 永井太田個人持堂庵（四月二二日）
- 2 中奈良明和館（明戸集会所）（四月二二日）
- 3 西別府安楽寺（五月三〇日）
- 4 西別府九品仏堂（五月三〇日）
- 5 西別府薬師堂（六月二八日）
- 6 玉井櫛集会所（六月二八日）
- 7 須賀広釈迦寺（九月二二日）
- 8 中奈良大江指地藏尊（一〇月二四日）
- 9 中奈良馬場集会所（一〇月二四日）
- 10 池上梅岩院（一〇月二四日）
- 11 西別府観音堂（一一月二九日）
- 12 川原明戸明道寺（一一月二九日）
- 13 万吉見性院（一一月二二日）

最後に、所蔵者、自治会関係者等の多大なる御協力に對して、心よりお礼申し上げます。

2 「調査報告書 仏像・仏画2」の編集

「調査報告書 仏像・仏画」については、全三巻の刊行を予定しており、すでに令和元年度に第一巻目を刊行したが、第二巻目の報告書の刊行に向け、次の二回の編集会議を行った。

1 令和三年度第二回編集会議 二月二二日

場所 妻沼中央公民館

2 令和三年度第三回編集会議 三月二八日

場所 妻沼中央公民館